

# 目 次

田中千尋ガバナー公式訪問日程 .....	1
クラブ協議会プログラム .....	2
委員会構成 .....	3
会 長 報 告 .....	4
幹 事 報 告 .....	5
クラブ概況 .....	6
西ロータリークラブの推移 .....	8
会 計 報 告 .....	10
クラブ奉仕委員会 .....	10
出席委員会 .....	11
職業分類委員会 .....	11
会員選考委員会 .....	12
会員増強委員会 .....	12
プログラム委員会 .....	13
広報委員会 .....	14
親睦委員会 .....	14
ロータリー情報委員会 .....	15
会報・雑誌委員会 .....	16
S・A・A .....	17
職業奉仕委員会 .....	17
社会奉仕委員会 .....	18
青少年奉仕委員会 .....	18
インターアクト委員会 .....	19
ローターアクト委員会 .....	19
国際奉仕委員会 .....	20
ロータリー財団委員会 .....	21
( 附 表 )	
決算・予算書 .....	1
会員名簿 .....	12
( 別 冊 )	
1984～85年度クラブアッセンブリー資料	
職業分類表(充填,未充填一覧表)	

## 田中千尋ガバナー公式訪問日程

10月17日(水)

16:00～17:00 会長・幹事との懇談会 (鶴鳴館 3F)

17:00～19:00 クラブ協議会 (鶴鳴館 2F)

19:00～ 懇親会 (鶴家)

10月18日(木)

12:30～13:30 例会(公式訪問)

例会終了後記念撮影

# クラブ協議会プログラム

1984. 10. 17 於 鶴 鳴 館

点 鐘  
開 会 の 辞 び  
ローターソン 及び  
歓迎の辞 紹介  
ガバナー・分区代理 挨拶  
ガバナー 報告  
会長 報告  
幹事 報告  
会計 報告  
クラブ奉仕委員会 報告  
出席 " "  
職業分類 " "  
会員選考 " "  
会員増強 " "  
プログラム " "  
広報 " "  
親睦 " "  
ロータリー情報 " "  
会報・雑誌 " "  
S・A・A・ 報告  
職業奉仕委員会 報告  
社会奉仕 " "  
青少年奉仕 " "  
インターアクト " "  
ローターアクト " "  
国際奉仕 " "  
ロータリー財団 " "  
講 評  
閉 会 の 辞 鐘  
点

副 会 長	福 田 正 臣
会 長	池 田 広
ガバナー	田 中 千 尋
会 長 事	池 田 広 重
幹 事	柿 市 高 重
会 計	小 園 正 人
副 会 長	福 田 正 臣
委 員 長	吉 留 益 雄
"	中 村 俊 雄
"	岩 元 紀 彦
"	中 村 一 雄
"	村 田 和 雄
"	三 角 桂 次 郎
"	德 澤 紀 生
"	島 津 忠 丸
"	岩 元 基 久
委 員 長	佐 久 間 佳 久
委 員 長	福 満 武 雄
"	前 田 隆 造
"	上 原 満
"	岩 田 泰 一
"	德 永 新 一 郎
"	玉 川 哲 生
"	古 木 圭 介
ガバナー	田 中 千 尋
幹 事	柿 市 高 重

# 鹿児島西ロータリークラブ役員・理事・委員会名簿

1984・7～1985・6

会 長 池田 広(理事) 副会長 福田 正臣(理事)  
 幹 事 柿市 高重 副幹事 土橋 滋  
 理 事 福満 武雄 前田 隆造 玉川 哲生 上原 満  
 小園 正人(会計)  
 S・A・A 佐久間佳久 副S・A・A 中尾 正昭 山下 皓三

委 員 会	所 属 委 員 (◎委員長 ○副委員長)
ク ラ ブ 奉 仕	◎福田正臣 √○中村善治
会 員 増 強	√◎中村一雄 √○桜美義明・高橋 司・岡山唯一
会 員 選 考	√◎岩元紀彦 √○川村 洋・藤安辰造
職 業 分 類	√◎中村俊雄 √○川田恵一・内山光男
出 席	◎吉留 <sup>ススム</sup> 益 √○外西寿彦・新福栄熊・高井敏治
親 睦	√◎徳沢 <sup>ミナオ</sup> 紀生 √○浜田 馨・谷口良康・海老原利則・久保田彦穂 野村昭五郎・中尾 洋・渡辺 忠・松本敏春
ロ ー タ リ ー 情 報	√◎島津忠丸 √○川畑正美・安田正治・久保政次
会 報 雑 誌	√◎岩元 <sup>ハジメ</sup> 基 √○石神兼康・河井時義・水濁清治・佐々木明
プ ロ グ ラ ム	√○村田和雄 √○村原迫卓視・江夏 <sup>コウカフカシ</sup> 洋・小山幸義・徳田 <sup>モトイ</sup> 基
広 報	√◎三角桂次郎 √○平岡禎吉・福田敏之・崎元行範
職 業 奉 仕	√◎福満武雄 √○田平 <sup>ヒロ</sup> 礼章・太原春雄・池口恵観・豊田泰司
社 会 奉 仕	√○前田隆造 √○林 其為・牧田健二・木治屋克己・光吉正昭
青 少 年 奉 仕	√○上原 <sup>ミツル</sup> 満 √○新川靖博・永松実夫・中川 宏・井手泰次郎 <sup>ヤス</sup>
イ ン タ ー ア ク ト	√◎岩田泰一 √○海江田卓・原口哲夫・佐伯寿郎・鮫島志芽太
ロ ー タ ー ア ク ト	√◎徳永新一郎 √○川平建次郎・本武勝美・森永茂樹・前田樹一郎 <sup>ジュイナロウ</sup>
国 際 奉 仕	√◎玉川哲生 √○川上鉄太郎・岩男秀彦・下脇 <sup>ツギノリ</sup> 二則
R 財 団 ・ 米 山 奨 学	√◎古木圭介 √○前田好文・宇治野純章
ロ ー タ リ ー 賞 推 せん	◎福田正臣 √○前田隆造・福満武雄・村田和雄・三角桂次郎 岩元 基

273地区青少年奉仕インターアクト委員 海江田 卓

# 会 長 報 告

会長 池 田 広

本日、第278地区田中千尋ガバナーを我が鹿児島西ロータリー・クラブにお招きしてクラブ協議会を開きますことは、我々会員一同にとりまして光栄且つ喜びにたえないところであります。かねてからお待ち申し上げていました、このガバナー公式訪問に際して我々の活動方針・活動方法等についてつぶさに申し上げ、ガバナーの御意見御指導を賜りたく思います。

本年度のクラブ活動の方針としましては、カルロス・カンセコR1会長のテーマ「見つけよう 奉仕の新生面」の意を体し、新しい分野に新しいアイデアをもって、それぞれの委員会活動を活発に行うように務めています。なかんづく、親睦の向上を本年度は最重視し、それにより活動の原動力を培います。次ぎに意を注いでいますのは青少年奉仕分野で、特にインター・アクトの増強には苦心していますが、今回はまず彼等が何を求めているか、何に興味を持つか、また何処に問題があるかを探り、彼等に奉仕を求めるまえに彼等に奉仕することとします。彼等にとって興味あるものの一つに国際交流がありますが、数十名に上る鹿児島大学留学生も夏休みも終り帰学しますし、交換学生も来ましたのでこれからの交歓の場を計画しています。また、しばらく中断されていた交歓学生受入れも今年度中には前向きに検討します。

以上本年度クラブ計画を簡単に述べました。各委員会活動につきましてはそれぞれの委員長が具体的な報告をいたします。

本日の会合におきまして、田中千尋ガバナー及び御同行の田頭分区代理より本クラブ活動につきまして御指導、御助言等賜りますよう、ちゅうしんよりお願いいたします。

# 告 幹 事 報 告

( 五 日 月 一 年 〇 一 千 九 百 八 十 三 )

日 〇 〇 月 〇 〇 日 幹 事 柿 市 高 重

新年度には入り、はや、3ヶ月を経、本日 田中ガバナーの御訪問を迎えることになりました。

当初、幹事自身はもとより不慣れのところ、事務局スタッフの変動も重なり、諸事不慣れ、不行届きの点もあり、会長はじめ会員各位に御迷惑をおかけしました。

しかし、この間、皆様の御理解と御援助により予算の作製、承認、定期刊行物(アッセンブリー、職業分類表、名簿、週報)の発行、家族会の開催等、何とかクラブ予定の行事を行って参りました。幸い、事務局もやっと落ちついて参り、諸整理も行い、すっきり致しました。

本日、ガバナーの御指導、御助言を得、カンセコR I 会長のテーマ「みつけよう、奉仕の新生面」の実現に向って、今後、当クラブの各委員会の活動は、更に活発化することと存じます。

これらの活動に應へるべく、当事務局も、より一層の勉強をし、クラブ内外の事務連絡、情報伝達、意志の疎通の円滑化に努力致す所存です。

# ク ラ ブ 概 況 報 告

(昭和59年10月 1日現在)

1. 創 立 年 月 日 昭和38年3月23日
2. 承 認 年 月 日 昭和38年6月27日(九州において第28番目)
3. チャーターナイト 昭和38年11月20日
4. 当時のR・I 会長 ニッチシ・P・ラハリー(インド)
5. 当時のガバナー 進 藤 誠 一(第370地区)
6. スポンサークラブ 鹿児島ロータリークラブ
7. チャーターメンバー 24名(その内現在会員5名)
8. 区 域 鹿児島市中央部を貫通する甲突川上流の玉江橋から下流へ—  
西田橋—高麗橋に至り西へ高麗町本通り—大学通り—中郡電  
停—更に電車路線に沿い鴨池公園南角に至り西へ谷山街道を  
経て宇宿町へ至る鹿児島市西方区域。
9. 事 務 所 ホテル鶴鳴館(0992-23-5902)
10. 例 会 日 毎週木曜日12時30分~13時30分
11. 例 会 場 ホテル鶴鳴館
12. 歴 代 会 長 8ページ
13. 歴 代 幹 事 9ページ
14. 現 在 会 員 正会員 49名  
シニア・アクチブ会員 32名  
計 81名  
入退会者数 入会者 0名  
退会者 0名
15. 平 均 年 齢 58.02才  
最高 82才 最低 35才  
80代 3名 70代 12名

60代 18名

50代 28名

40代 18名

30代 4名

16. 出席率	93.75%		
17. 入会金	35,000円		
18. 年会費	160,000円		
19. ビジター会費	1,700円		
20. 会報	毎週週報を発行		
21. ロータリアン誌	1名		
22. レビスタ誌	1名		
23. クラブ協議会	3回(あと5回以上)		
24. クラブフォーラム	2回(あと3回以上)		
25. 炉辺会合	1回(あと3回以上)		
26. 理事会	定例……毎月第2例会日 臨時……必要に応じ随時		
27. 委員長会議	12回		
28. 会長幹事会	県下……0回(あと2回)	市内……2回(あと0回)	
29. 予算	附表		

(以下ページを参照) → 次へ → 次へ → 次へ

一、新入会者、退会者、転居者、引当金、共済金、会費、入会金、年会費、ビジター会費、会報、ロータリアン誌、レビスタ誌、クラブ協議会、クラブフォーラム、炉辺会合、理事会、委員長会議、会長幹事会、予算



西 口 一 塔 里 一

昭 和	西 曆	ガ バ ナ 一		会 長
38~39	1963~64	嘉 村 平 八	初 代	桜 美 四 郎
39~40	1964~65	町 田 秀 実	2代	土 橋 英 夫
40~41	1965~66	島 津 久 厚	3代	塘 一 郎
41~42	1966~67	吉 村 常 助	4代	米 倉 秀 雄
42~43	1967~68	向 笠 広 次	5代	島 津 忠 丸
43~44	1968~69	大 津 篤 造	6代	鮫 島 志 芽 太
44~45	1969~70	日 高 安 壮	7代	佐 伯 延 次 郎
45~46	1970~71	八 田 秋	8代	久 保 田 彦 穂
46~47	1971~72	小 田 一 昭	9代	岩 元 正 二
47~48	1972~73	東 博 仁	10代	牧 田 健 二
48~49	1973~74	杉 原 頼 三	11代	川 村 洋
49~50	1974~75	竹 野 融	12代	新 福 栄 熊
50~51	1975~76	後 藤 基 彰	13代	福 田 敏 之
51~52	1976~77	塘 一 郎	14代	岡 元 健 一 郎
52~53	1977~78	西 田 武 雄	15代	河 井 時 義
53~54	1978~79	吉 村 武 文	16代	藤 安 辰 造
54~55	1979~80	井 上 和 人	17代	川 上 鉄 太 郎
55~56	1980~81	福 島 親 比 古	18代	浜 田 馨
56~57	1981~82	大 久 保 一 郎	19代	中 村 俊 雄
57~58	1982~83	杉 村 進	20代	久 保 政 次
58~59	1983~84	丸 田 美 徳	21代	高 井 敏 治
59~60	1984~85	田 中 千 尋	22代	池 田 広

○ チャーターメンバー (アルファベット順)

安 楽 慶 一 郎   福 井 浩   船 木 潔   堀 俊 一  
 犬 伏 康 夫   岩 元 健 吉   岩 元 正 二   河 井 時 義  
 川 村 洋   小 山 幸 義   倉 園 清 市   黒 木 長 太 郎  
 牧 田 健 二   松 元 明 人   大 小 田 友 一   大 山 実  
 西 郷 隆 永   桜 美 四 郎   柴 山 一 雄   島 津 忠 丸  
 田 原 誠 助   塘 一 郎   土 橋 英 夫   米 倉 秀 雄  
 計 24名

# クラブの推移

幹事	会員数	平均年齢	平均出席率	その他区順位
川村 洋	35名	50.0才	99.18%	9
高德 三蔵	44	49.0	99.11	9
河井 時義	48	51.40	99.09	8
藤安 辰造	46	52.70	98.81	
安楽 慶一郎	55	53.30	99.79	9
柴山 一雄	58	53.00	99.92	4
高井 敏治	61	52.80	99.92	6
久保 政次	65	52.60	98.83	9
田平 札章	73	53.19	99.01	5
浜田 馨	79	52.09	98.14	10
外西 寿彦	75	54.30	98.73	9
小山 幸義	79	53.80	97.91	9
池田 広	85	54.60	97.63	10
中村 善治	86	55.70	95.49	
小園 正人	90	57.10	96.52	
三角 桂次郎	87	56.45	96.59	
川田 恵一	88	57.25	96.92	
光吉 正昭	87	57.47	97.07	
徳沢 紀生	86	57.58	96.22	
水洩 清治	89	57.02	93.96	
木治屋 克己	85	57.18	92.80	7月・8月
柿市 高重	81	58.27	92.61	7月8月9月

## ○ ボールハリス・フェロー

故(塘 一郎) 池田 広 柿市 高重 藤安 辰造  
池口 恵観 故(柴山 一雄) 牧田 健二 河井 時義  
以上 8名

## ○ ボールハリス準フェロー

(桜美 四郎) 故(岩元 健吉) 川村 洋 土橋 滋  
(岩元 正二) 海老原 利則 外西 寿彦 故(岡山 栄)  
中村 善治 (池田 穰)(永井 利承) 川上 鉄太郎  
浜田 馨 徳沢 紀生  
以上 14名

## 会 計 報 告

会 計 小 園 正 人

- 1) 毎月、月初、前月のクラブの収支状況チェック。
- 2) 理事会の問合せ、依頼に応じて、会計報告書呈出。(帳簿類呈出)

### ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会

委員長 福 田 正 臣

委員 中 村 善 治

「入りて学び、出でて奉仕する」の、その奉仕の心を養う場であるクラブの内部を充実させるためには、クラブ奉仕に関係ある九つの委員会が、委員長だけでなく委員の一人一人がその責務を自覚して、実効ある委員会活動を遂行することが重要である。

出席：「親睦と奉仕」というロータリーの基本理念は、週に一度会員の集まりの中に身をおくことによって、おのづから次第に体得されるものであることを、今一度自覚を新たにしていって例会出席の向上をはかりたい。その策として、各委員会毎の出席率を良くするように、委員長が所属する委員達の出席を督励する。

会員増強：会員数80人を切らないよう努力し、特に若年層の入会に力を入れて居る。

勉強と親睦：その方法の一つとして当クラブで6年前から毎月1回行なって居る学習会を特に新入会員の教育指導に活用して居る。

委員会活動の充実：委員長一人だけが仕事をする、という弊を無くするためには、委員長が委員一人一人に仕事をさせるよう督励することが必要であり、それがまた委員長の重要な任務でもあることを自覚して、各委員会毎に2～3ヶ月に一回は、充分時間をかけた委員会を行なうように努力して居る。なお、毎月、第一例会の日、例会終了後に委員長会議を行なって居る。

## 出席委員会

---

委員長 吉留 益

委員 外西寿彦, 新福栄熊, 高井敏治

### 基本方針

ロータリーはまず出席するという事を認識させ、100%の出席を心掛ける。

### 本年度の計画

- ① 恒例通り、100%出席達成者に記念品を贈呈する。
- ② 常に出席表に気を配り、欠席の多い者には書簡等で本人に出席を促す。

## 職業分類委員会

---

委員長 中村俊雄

委員 川田恵一, 内山光男

- ① 職業分類はロータリークラブ発展の基礎であるという認識のもとに、地域社会の職種を再検討し職業分類表を作成し、会員に公表し協力を求めた。
- ② 会員増強、会員選考の両委員会と連絡を密にし、未充填部門の充填に努力し、業種的バランスのとれたクラブとして発展するよう理事会に計りつつ推進する。

## 会 員 選 考 委 員 会

委員長 岩 元 紀 彦

委員 川 村 洋, 藤 安 辰 造

当初, 本委員会は, 推せんされた方の審査に当り, 本人の人格, 奉仕に対する熱心さ, 例会出席の可能性を判断基準として来た。

現在迄のところ, 6名を選考し, 全員 優れたロータリアンたるべき方として理事会に報告して来た。

今後も, 本年度のR I会長の増強の方針に沿って多数の候補者が推せんされることだろうが, 当委員会は, 上記判断基準を守って積極的にとりくみたい。

## 会 員 増 強 委 員 会

委員長 中 村 一 雄

委員 桜 美 義 明, 高 橋 司, 岡 山 唯 一

- ① 奉仕の輪を広げるためにも, 又クラブの活性化をはかるためにも会員の増強が重要であることを認識し, できるだけ未充塲分野から, 特に若年層から人材を増強するよう努める所存です。
- ② 増強目標を10名以上(10%+アルファ)を考えており, 9月末現在までに6名の新入会員を迎えました。
- ③ 会員の早期退会防止については当クラブでは情報活動, 親睦活動を通じて種々方策も講ぜられておりますので, これに協力して参りたいと考えております。

## プログラム委員会

委員長 村田和雄

委員 田原迫卓視, 江夏洋, 小山幸義, 徳田基

卓話内容について、年度はじめ、会員にアンケート回答を求めた結果、健康(82%)、経営(48%)、歴史(46%)、食生活(42%)、教育(36%)、ニューメディア(30%)、スポーツ(30%)、文学(24%)の順で会員の関心が高いことがわかった。

これを中心に、季節折々の行事にふさわしい話題をまじえながら、会員及び各界の方に卓話をお願いしてゆく予定である。

現在迄の所、下記の通りである。

月 日	テ ー マ	クラブ行事並びに卓話者
7. 5	地区協議会報告	クラブ協議会
7.12	委員会活動計画	ファイヤサイドミーティング
7.19	活動方針及び計画	クラブ協議会
7.26	決算報告・予算審議	クラブ協議会
8. 2	「海外研修を終えて」	会員 永松実夫
8. 9	「お盆を迎えて」	会員 池口恵観
8.16	「ことばの履歴書」	会員 海江田卓
8.23	「健康を高めるには」	会員 牧田健二
8.30	「脳卒中について」	会員 河井時義
9. 6	「心臓と血管の話」	会員 福田正臣
9.13	「医療あれこれ」	会員 太原春雄
9.20	観月家族会	城山観光ホテル
9.27	青少年委員会報告	クラブフォーラム
10. 4	ガバナーを迎えるに当たり	クラブ協議会

## 広 報 委 員 会

委員長 三 角 桂次郎

委員 平 岡 禎 吉, 福 田 敏 之, 崎 元 行 範

### 基 本 方 針

ロータリーの精神ならびに活動を広く地域社会に伝えると共に、ロータリアンがロータリーの一の綱領と目標を達成するための手伝いをする。

### 本 年 度 の 計 画

- ① 西R・C各委員会、理事会等の動向をよくつかみ会員にPRする。
- ② 同地域の近隣ロータリーの広報委員会との連携
- ③ 地域マスコミ関係者との連携
- ④ 会員各位の広報意識の高揚と、ロータリアンとしての意識高揚

以上の項にそって努力しているが、実際としては週報を密度の濃いものにして西R・Cのあらゆる活動を報告していく。

## 親 睦 委 員 会

委員長 徳 沢 紀 生

委員 浜 田 馨, 谷 口 良 康, 海老原 利 則, 久保田 彦 穂  
野 村 昭五郎, 中 尾 洋, 渡 辺 忠, 松 本 敏 春

- ① 会員相互の親睦をより一層深める為

イ、S・A・Aと協議し、例会座席を委員会別、誕生月別、趣味別、抽選番号に配置した。

今後も適時実施する。

ロ、新入会員には名札に赤い星をつけはっきり分るようにし、新入会員の方々が早くクラブに馴染まるよう努めている。

- ② 観月家族会を9月20日開催、多数のお客様を招待し、特に外国の留学生及びその家族が出席され、親睦と国際親善を深めた。
- ③ 会員のみならず、会員夫人誕生日に記念品を贈呈している。
- ④ 善意のポケットマネーからの「ニコニコ箱」への寄付金奉仕を積極的に推奨している。
- ⑤ 西ロータリークラブの歌詞を募集中である。

## ロータリー情報委員会

委員長 島津忠丸

委員 川畑正美, 安田正治, 久保政次

### 基本方針

会員特に新入会員に対し、ロータリーの身近な情報を提供して会員の責務と特典に対する意識を深める。

### 計 画

- ① 学習会の成果を効果的にする為、新入会員の出席を奨励する。
- ② 新入会員の入会時には出来る丈時間を設けて、情報の提供を行う。
- ③ 理事会、委員会と協力、文献、資料の提供を得て機会を設けて会員へ紹介する。

### 実 績

新年度に入りまだ日の浅い事もあり、委員長以下の研究不足もあり、当初計画に対しては



不十分な現状である。

3分間情報としては未だ1回しか実行出来ておりませんが、少なくとも毎月1回のペースで実行したいと考えております。

## 会報雑誌委員会

委員長 岩元 基

委員 石神兼康, 河井時義, 水洩清治, 佐々木 明

「会報はクラブの歴史の記録書」であるとの認識に立ち、又同時に、ロータリー関係の情報の提供、会員教育の手段でもあり、又 親睦活動の一助として会員の自由な意見発表の場ともしたい意味で会員に投稿をよびかけてまいりました。

現在迄のところ

- ① クラブ活動の記録については、卓話メモ、各種委員会、学習会、ローターアクト、インターアクト活動の記録は、ほゞ充分に行っております。
- ② ロータリー関係情報、ニュース、会員教育資料の提供については、今後の努力が必要と思います。
- ③ 会員の投稿についても更に努力するつもりです。
- ④ 会報の配布については、マスコミ関係、公共的・機関（官公庁広報課、図書館）等、届けております。

## S . A . A

委員長 佐久間 佳久

委員 中尾 正昭, 山下 皓三

- (1) 秩序正しく、品位ある楽しい例会が運営出来る様気を配り、ゲスト、ビジターに良い印象を与える様努力して居ります。
- (2) 座席については、7月は委員会別にし各委員がよく知り合えるようにしました。今後はいろいろ工夫を重ねていきたい。

## 職業奉仕委員会

委員長 福満 武雄

委員 田平 礼章, 太原 春雄, 池口 恵観, 豊田 泰司

- ① 7月から毎月最終例会で、四つのテストの朗読、または四つのテストの歌の斉唱を始めた。そのため、四つのテストの歌の練習会を2回開催した。
- ② 優良職場訪問は、11月中に実施の予定で目下検討中である。
- ③ ロータリー職業奉仕例集(前原勝樹編)を購入し、職業奉仕の事例の研究を進めている。

## 社会奉仕委員会

委員長 前田 隆造

委員 林 基為, 牧田 健二, 木治屋 克己, 光吉 正昭

地域社会のニーズを検討し、クラブの資金力、適応力の範囲内で、これに应答する奉仕活動を行う。

- ① 「ロータリー賞」, 「友愛文庫」の贈呈は継続する。

「友愛文庫」の献本については、事前に出来るだけ、学校側と話し合い、本当に必要な図書を選定する。

- ② 献血運動の推進。

血液の需要、献血現状を会員に更に認識して頂き、会員はじめ会員の属す組織での献血の重要性を訴えてもらうよう特に努力する。

- ③ 社会奉仕実例の検討会を行う。

## 青少年奉仕委員会

委員長 上原 満

委員 新川 靖博, 永松 実夫, 中川 宏, 井手 泰次郎

- ① 7月24日インターアクトクラブの生徒と指導教官との懇親会を行った。

- ② 9月27日, 青少年奉仕のクラブフォーラムを行った。

- ③ ローターアクト, OBの協力を得て, ローターアクトクラブの活動状況をビデオに撮って会員増強に役立てるよう計画している。

- ④ 手続要覧に記載されている青年功績賞を实行したい。

## インターアクト委員会

委員長 岩田 泰一

委員 海江田 卓, 原口 哲夫, 佐伯 寿郎, 鮫島 志芽太

本年度には入り、直ちに、7月24日、ロータリアンと鶴丸高、鹿高のインターアクトメンバー、指導教官と懇親会を開催、従来のアクト活動の不振点、難点について検討した。

そして、これら討論を基盤として今後の活動を開始した。

① 県下インターアクト連絡協議会の開催(7/25)

② ベトナム難民との対話集会

③ 韓国研修旅行 (S5 9.8.3~5)

教官(栄鶴先生), 学生2名参加

④ 第20回インターアクト年次大会(S5 9.8.11~13)

アクト(6名), 教官1名参加

ロータリアン(徳永)参加

⑤ 鹿高文化祭(S5 9.9.10)

インターアクト展示。

## ローターアクト委員会

委員長 徳永 新一郎

委員 川平 建次郎, 本武 勝美, 森永 茂樹, 前田 樹一郎

### 基本方針

- ① ローターアクトの会員増強
- ② ロータリアンのローターアクト例会への出席励行
- ③ ローターアクトの自主性を尊重し、適切なる指導、援助、又地域に合った社会奉仕を推進する。

## 本年度の計画実施報告

会員増強の為のPRの推進とロータリアンの職場での呼び掛けを行って、唯今6名位の参加予定である。

ローターアクトの海外研修(韓国)へ1名参加して大変成果をあげた。

朝清掃、愛の聖母園には毎月殆んど全員出席、夏のキャンプ実施

第13回ローターアクト年次大会へ8名参加して会員の交流を計りました。

今後職場訪問、ダンスパーティー等への計画立案中です。尚、ローターアクト例会には毎回ロータリアン3名～5名の出席を頂いています。

## 国際奉仕委員会

委員長 玉川哲生

委員 川上鉄太郎, 岩尾秀彦, 下脇二則

9月20日当クラブ主催の観月家族会に、鹿児島大学在学中の海外留学生、家族、計26名を招待し、R・C会員と共に当日出席のI・A・C会員との相互親善の実をあげた。

I・A・C委員会と協力して、I・A・C会員と海外留学生との交換の場を拓けて行きたい。

ロータリークラブ交換留学生の受入れについて将来の受入が可能である様、クラブ内でアンケート等を行い意識を深めて行きたい。

## R 財団・米山奨学委員会

委員長 古木圭介

委員 前田好文, 宇治野純章

### 基本方針

- ① ロータリー財団活動の趣旨と現状を会員に理解してもらう。
- ② クラブの財団寄付金を増やす。
- ③ ロータリー財団奨学生を推薦する。

### 計 画

- ① 百万ドル食事を年6回実施する。
- ② 財団に関する情報を会員に伝える。
- ③ 積極的に寄付の促進を考える。

### 実 績

- ① 百万ドル食事を2回実施(8月9日, 10月4日)
- ② ボールハリス・フェロー, 準フェローの募集に努力中。